



## 平高相撲部が北海道インターハイで大活躍



北海道インターハイに出場した本校相撲部員(写真上:左から工藤 琉誠、伊藤 光希、松浦 琢磨、写真下:左から田村 昂大、工藤 佳太、工藤 煌斗)

全国高等学校総合体育大会(北海道インターハイ2023)相撲競技が8月4日から6日まで北海道北斗市で行われました。本校からは相撲部員6人が県代表として出場。個人体重別100<sup>kg</sup>級で工藤佳太選手が2年ぶりに優勝し、また団体戦では7年ぶりに5位入賞するなど、目覚ましい活躍を見せました。生徒は全国の舞台での経験を胸に、次の目標を見据えています。

### 結果

- 団体戦 第5位
- 個人戦 伊藤 光希:優秀16選手
- 工藤 佳太:優秀32選手
- 田村 昂大:優秀32選手決定トーナメント2回戦敗退
- 個人体重別80<sup>kg</sup>級 松浦 琢磨:1回戦敗退
- 個人体重別100<sup>kg</sup>級 工藤 佳太:優勝



### Interview

大会を終えての感想や後輩に期待すること



田村 昂大(3年)

個人戦は良い成績を残すことができなかったが、団体戦は決勝トーナメントに進むことができ、目標のベスト8が達成できた。  
後輩たちは筋トレなどで基礎体力を高めるとともに、まとまりを大事に頑張ってもらいたい。



工藤 佳太(3年)

3年間の集大成となるインターハイで、団体戦・個人戦ともに目標を達成できてよかった。国体でも入賞できるよう頑張ります。  
これからの平高相撲部に期待することは、インターハイで団体優勝して欲しい。



工藤 煌斗(3年)

高校最後のインターハイで活躍できたので嬉しかった。大学に行っても相撲を続ける予定なのでこれからも頑張りたい。  
平高相撲部には、これからも心一つにして頑張ってもらいたい。



伊藤 光希(2年)

個人戦はベスト16で、もう一つ勝てなかったのが悔しい。団体戦は全員の力で5位入賞することができた。全国の強者たちの取組を見て、とても良い刺激を受けた。  
次は自分がチームを引っ張り、今年以上の成績を残したい。



工藤 琉誠(1年)

今回のインターハイでは全然勝つことができず、チームに貢献できたという実感が少ない。  
今後は、体重を増やして全国に挑戦し、チームのために勝てるように頑張っていきたい。



松浦 琢磨(1年)

初めてのインターハイはとても緊張した。観客の多さと選手の多さにもびっくりした。  
勝つことはできなかったが、来年のインターハイを目指し、まず新人戦で東北大会を目指したい。これからも応援をよろしくお願いします。